

編 集 後 記

今月から「子ども時代と私」の連載が始まりました。戦時下に子ども時代を過ごされた大先輩の方々がご自身の幼少時代をどの様に記憶されていらっしやるのかを、貴重な資料とさせていただきますたく企画致しました。そこから逆にこれからの幼児教育の中で大切にしていこうことに思いを巡らせることができばと考えています。

*

この連載のスタートと期を同じくして、今月号には、二十世紀の終わりとして二十一世紀への橋渡しを考えさせられる記事が目だったように思います。

本誌の創刊も二十世紀と共に始まったことを思うと、隔世の感があるとともに、私たちが大切にしたいものは脈々と続いて変わらなずにあることを思わされます。ただ現実の環境には、それを行うために多くの障壁があるのも確かです。それを一番痛切に感じているのは、子どもたちと日々を過ごされている保育者の方々かもしれません。しかし「保育の実践研究について考える」の記事の中に書かれている「日々の保育活動と深く結びつき、より充実した保育を実現できる方向で実践者を生き生きとさせるものになる」ような保育現場からの実践研究が、それらの障壁を乗り越えていく一つの力になるのではないかと考えます。

このような記事を載せていく企画も現在検討しています。

(田)

幼 児 の 教 育

第九十五巻 第五号

(一九九六年五月号)

定価四五〇円(本体四三七円)

発行 平成八年五月一日

編集兼発行人 田代和美

発行所 日本幼稚園協会

〒112東京都文京区大塚二一―一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108東京都港区三田五十一―二―一

発売所 フレーベル館

〒113東京都文京区本駒込

六一―四―九

☎〇三―五三九五―六六一三(営業)

☎〇三―五三九五―六六〇四(編集)

振替 〇〇―一九〇―二一九六四〇

☆ 本誌ご購入のご注文は発売所フレー

ベル館にお願いします。

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。